

※これより先に記載いただいた情報は取りまとめ後に公表させていただきます。

レシピ名	新旧の設備データを簡単に収集し、生産情報を最大限に活用！									
一言説明 (32文字以内)	現場まるごと見える化を、簡単・低コストで実現。									
ユースケース 分類	対象領域 ↓チェック欄	目的	ユースケース ↓チェック欄 ※詳細は参考資料2及び3をご覧ください。							
	○ A 現場カイゼン	イ 品質向上・安定化/不良率低減	<input type="checkbox"/>	1 作業員のポカよけ						
		ロ 生産性向上/コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/>	2 設備の加工誤差最小化						
	○ B 業務プロセス改善	イ 品質向上・安定化/不良率低減	<input checked="" type="checkbox"/>	3 ダウンタイム削減						
		ロ 生産性向上/コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/>	4 設備・人の稼働率向上						
		ホ 顧客基盤拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	5 人の作業を効率化・負担軽減						
	○ C 製造プロセス最適化	イ 品質向上・安定化/不良率低減	<input type="checkbox"/>	6 生産に係るリソースの最適配分						
		ロ 生産性向上/コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/>	7 在庫の最適化						
		ハ 技能継承/人材育成	<input type="checkbox"/>	8 多様なニーズへの対応						
		ニ リードタイム削減	<input checked="" type="checkbox"/>	9 共同受注体の形成						
ホ 顧客基盤拡大		<input type="checkbox"/>	10 設計品質の向上							
その他のユースケースに対し、該当する対象領域、目的について上記から記号で お示しいただくか、上記以外の場合はそれぞれ具体的にご記入下さい。		<input type="checkbox"/>	その他のユースケース							
機能領域・・・レシピの機能領域について該当するすべての箇所をチェック下さい。④データ活用は必須と致し ます。(詳細は本書式表紙の「IoTレシピについて」欄や、応募要項、企画書等をご覧ください)										
機能分類	個別の機能→ ↓横串に跨る機能	<input checked="" type="checkbox"/>	①データを上げる	<input checked="" type="checkbox"/>	②データをためる	<input checked="" type="checkbox"/>	③データを 分析する	<input checked="" type="checkbox"/>	④データを 活用する	
	⑤データを見せる	<input checked="" type="checkbox"/>	(どの領域における見える化かは次ページの概要にご記載下さい。)							
	⑥導入支援	<input type="checkbox"/>	(どの領域における支援かは次ページの概要にご記載下さい。)							
導入費用 導入容易性	立上げ・導入期間	<input type="radio"/>	即日	<input type="radio"/>	3日以内	<input checked="" type="radio"/>	1週間以内	<input type="radio"/>	1か月以内	
	導入開始から1年間で発生 する想定コストレンジ	<input type="radio"/>	～10万円未満	<input checked="" type="radio"/>	10万円 ～50万円未満	<input type="radio"/>	50万円 ～100万円未満	<input type="radio"/>	100万円以上	
	初期費用	システム開発ソフトウェア 合計¥142,700								
	ランニングコスト	なし								
	その他(導入支援費等)	GP-ProEX導入セミナー、Pro-Server EX導入セミナー東京、名古屋、大阪で開催								
	(費用等に関する補足、導入時の手続き、手順等をご記入ください。)(250文字以内)									
<p>■ GP-ProEX導入セミナー(¥30,000)、Pro-Server EX導入セミナー(¥20,000)東京、名古屋、大阪で開催</p> <p>■ WEBサイト(www.proface.co.jp)で、お客様の声、事例、デモ動画など多数掲載していますので、お客様の導入に向けてのヒントにお使え頂けます。</p> <p>■ 概算システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場からの取得データ種類、点数により変わりますが、最小では上記初期費用+¥47,500から。 ・例としてEthernet x 2, AI/O(入力4点、出力2点)、DI/O(入力12点、出力6点)、FANUCロボットを 取り込むシステムでは上記初期費用+¥506,000 										

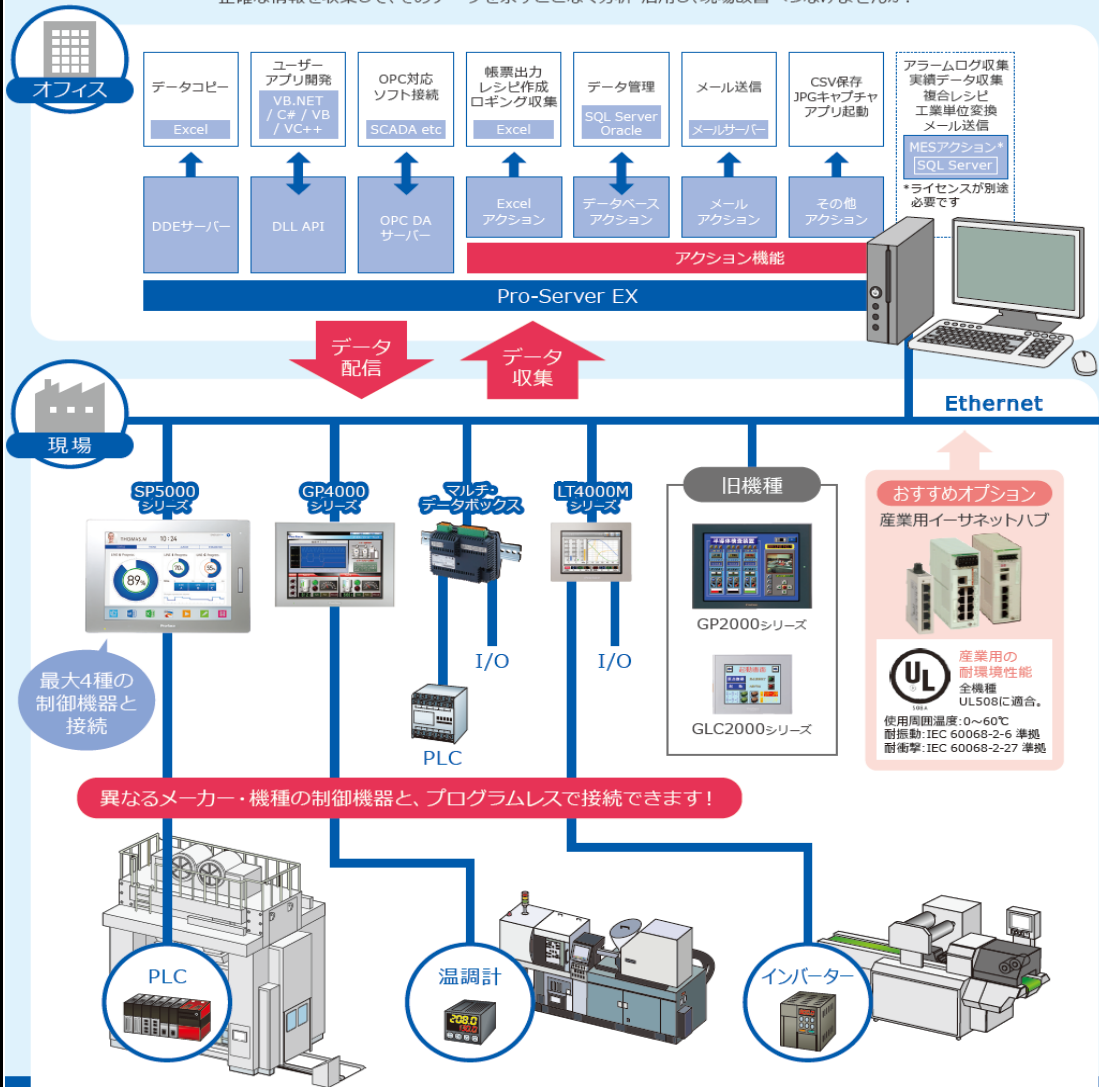
レシピ(ソリューション)を構成するツール概要	<p>●データ活用による一連のレシピ(ソリューション)を実現するための以下に示す機能領域ごとの個々のツールについて、分解可能な範囲で概要を以下にご記入下さい。また、一つのツールによっていくつかの機能領域の役割を行っている場合はその旨をご記載下さい。</p> <p>●お示しいだいたツールごとの「ばら売り」も行っている場合は、該当のツールについて、IoTツール応募フォーマットを合わせてご用意下さい。</p>	
	①データを上げる	<p>ツール名(メーカー) マルチデータボックス:MDB (シュナイダーエレクトリックホールディングス)</p> <p>概要 データ収集機器 マルチ・データボックス(以下、MDB)は、装置のネットワーク化を容易に実現します。新規設備はもちろん、既存設備への後付けに適しており、シリアルやEthernet経由の情報、さらにはI/O情報をMDB介して取得。装置まるごとネットワーク化が可能です。取得した膨大な情報をMDBで処理し、MDB間での関係も可能とした、IoT時代におけるエッジコンピューティング端末として最適な製品です。上位機種ではEthernetポートを3つ搭載しており、各ポートのIPアドレスを自由に設定できるので、装置に手を加えずデータ収集ができます。また、豊富なドライバーで各種機器とプログラムレスに接続できます。</p>
	②データをためる	<p>ツール名(メーカー) MDB、Pro-Server EX (シュナイダーエレクトリックホールディングス)</p> <p>概要 USB2.0コネクタ(Type A)を利用し、オフラインでのUSBメモリを使ったデータ収集が可能です。(上位機種ではSDカード、CFastカードをサポートしています) またこのMDBとネットワーク接続されたPCにデータマネージメントソフトウェアPro-ServerEXを搭載して頂けると、プログラムレスで簡単にデータを貯めることが出来、上位データベース(SQLサーバー、Oracle、OPC DA等)と連携できます。</p>
	③データを分析する	<p>ツール名(メーカー) GP・SPシリーズ、Pro-Server EX (シュナイダーエレクトリックホールディングス)</p> <p>概要 PLC内に点在している個々のデータをグループ化できます。通信回数の減少、パフォーマンスの改善につながり、従来あった配信データ数の制限も解消しました。また、Pro-Server EXが管理している表示器のモニタリングツールをご用意。接続状況やエラーログだけでなく、GP・SPIに接続している全てのデバイスデータを参照できるので、装置やラインのデバッグに役立ちます。 データ収集するエリアやタイミングの設定を、Excel上の専用ツールバーにまとめることで、レシピとロギングが1つのシートに設定でき、異常検知を素早く確認できます。</p>
	④データを活用する	<p>ツール名(メーカー) Pro-Server EX (シュナイダーエレクトリックホールディングス)</p> <p>概要 使い慣れたExcelと連携することで、現場から収集した各データを見やすくグラフ化したり、帳票作成機能を使えば、情報共有に必要な日報や各種レポートなどの正確な現場ドキュメントを簡単に作成できます。さらに、すぐに使えるテンプレート(30種類)を活用すれば、インストールした日から帳票のデータ化(直行率、作業計画管理、時間推移)が可能です。 また、担当者にメールで知らせる事も出来ます。</p>
	⑤データを見せる	<p>ツール名(メーカー) MDB、Pro-Server EX (シュナイダーエレクトリックホールディングス)</p> <p>見える化している領域(上記①～④若しくは文章で記載下さい) MDB : 単独の装置や追加したセンサー、機器など繋がっているデバイス。 Pro-Server EX : Ethernetで繋がっている全てのデバイス。</p> <p>概要(どのように見える化をしているか、上記①～④のツールと一体化している等詳細を記載下さい) Pro-Server EXはMDBやPLC、各装置などとEthernetで繋ぐことで、接続されているデバイスにPro-Server EXからデータを取得する為、既存システムに影響なく、またPCのExcelと連携することで、プログラムレスで接続されたデバイスの情報を多彩な形式で自動的に収集。リアルタイムな生産情報を分析用データとして活用できます。また、生産支持や生産計画などオフィスで作成したデータを現場にダイレクトに伝達できます。</p>
その他のツール 上記の分類にそぐわないものなど	<p>ツール名(メーカー)</p> <p>活用している領域</p> <p>概要</p>	

- 本レシピ(ソリューション)のユースケースの詳細についてご記載下さい。(どのような課題に対し、どのように解決できるのか等。)
- レシピにおけるツール構成について、図や写真等を書式内に張り付けて、示してください。
- 別途、図や写真等のビジュアル中心を想定した追加フォーマットをご用意しております。ビジュアル用のフォーマットは主に公表後のPR等に活用する予定ですので、キービジュアル等はそちらにもお示し下さい。

- 自動車部品メーカー様 加工精度をあげたい
加工装置の刃具の磨耗によって加工位置が変わってくる。
MDBで自動補正演算を行い、最適な加工位置に補正することで、加工精度をあげることができた。
- コンプレッサ組立工程 生産ライン全体の稼働率あげたい
個々の装置で稼働実績をとっているがライン全体から稼働状態を監視できていないところを、MDB+Pro-Server EXで異なる装置(PLC)の情報を一元管理。ライン全体を把握することで稼働率をアップすることができた。

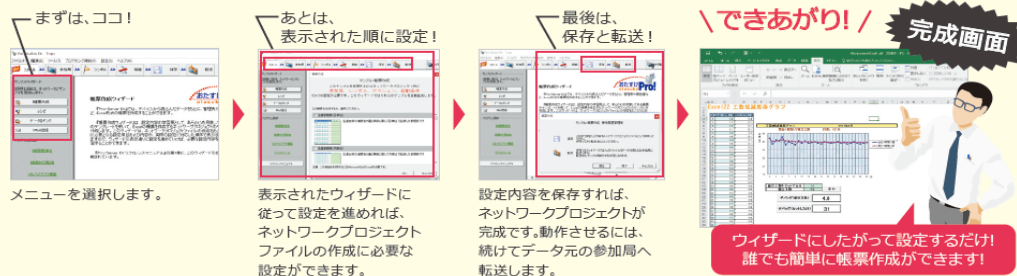
現場全体を見渡せるPro-Server EXが、 さまざまな悩みを解決します!!

正確な情報を収集して、そのデータを余すことなく分析・活用し、現場改善へつなげませんか?



レシピ
(自由記述)

初心者でも、安心のカンタン操作。“ウィザード機能”



有効性 安全性	<p>●レシピに関する機能や波及効果、想定ユースケース以外の活用可能ケース、セキュリティ面等の安全性についてご記入下さい。(300文字以内)</p> <p>■初心者でも、安心のカンタン操作、ウィザード機能 表示されたウィザードに従って設定を進めれば、ネットワークプロジェクトファイルの作成に必要な設定ができます。</p> <p>■標準テンプレートは30種類用意 現場の効率化を図るには、まず状況を「見える化」し、情報を共有することが改善への近道。 帳票作成機能を使えば、情報共有に必要な日報や各種レポートなどの正確な現場ドキュメントを簡単に作成。 さらに、すぐに使えるテンプレートを活用すれば、インストールした日から帳票のデータ化が可能です。</p> <p>■Excelで帳票作成して情報共有 帳票例としては、生産管理板、チョコ停記録表、アンドン、直行率推移グラフ、段取り作業計画・実績管理板、 段取り作業時間推移グラフなど作成可能。</p> <p>■セキュリティ リモートパスワード設定で、外部からの接続に対して、パスワードで制限します。</p>		
	<p>●波及効果や、機能領域区分における他のツールで相性の良いツール、想定ユースケース以外の活用可能ケース(具体的なものであれば追加でご応募下さい)等についてご記入下さい。(300文字以内)</p> <p>■生産現場のIoT化をスムーズスタートで可能 IoT化に対応するために、設備・装置・デバイスすべてのデータを収集できること。さらには、収集したデータを一元で管理することが重要です。データ収集機器 マルチ・データボックスは、操作・表示を必要としない装置のネットワーク化を容易に実現します。新規設備はもちろん、既存設備への後付けに適しており、シリアルやEthernet経由の情報、さらにはI/O情報をマルチ・データボックスを介して取得。装置まるごとネットワーク化が可能です。</p> <p>■Pro-Server EXと使い慣れたExcelとの連携で、生産情報を最大限に活用！ PLCなどの情報を、Excelをはじめとする多彩な形式で自動的に収集。リアルタイムな生産情報を分析用データとして活用できます。また、生産指示と実績を1つの画面で表示できるので、進捗も一目瞭然です。</p> <p>■現場でも見えます！ MDBにWi-Fiルータを接続することで、パラメータ設定やメンテナンスの際にタブレットMDBの仮想HMI画面にアクセス。また、Pro-Server EXに現場の異常アラームなど、あらかじめ設定したイベントに関連付けてメール送信ができます。異常復旧時に、オペレーターを呼び出す手段として活用すれば、迅速な対応が可能です。</p>		
問合せ先 情報 (ユーザ企業からの問合せ先)	(問合せ先情報を、開示可能な範囲でご記載下さい。)		
	企業・団体名/ 個人名	(フリガナ) シュナイダーエレクトリック	
		シュナイダーエレクトリック(株)	
	所在地	都道府県	市町村以下(フリガナ) ミナトクシパウラ
		東京都	港区芝浦2-15-6 オアーゼ芝浦MJビル
	企業HP	www.proface.co.jp	
	ツールのWebサイト、動画サイト(3つまで)	www.proface.co.jp	
問い合わせ窓口 担当者	担当者名	(フリガナ) シュナイダーエレクトリック カスタマケアーセンター シュナイダーエレクトリック カスタマケアーセンター	
	ご連絡先	電話番号	0570-056-800
E-mail		support@proface.co.jp	

- 大企業(300人以上)
○ 中小企業(300人未満)
○ 団体
○ 個人